

2007年  
受賞作

- 「**立ったまま埋葬してくれ**」 BURY ME STANDING  
監督:キャラン・ハーツフィールド Caran Hartsfield
- 「**アニウス・デイ**」 AGNUS DEI (アルゼンチン=フランス)  
監督:ルシア・セドロン Lucia Cedron

- 「**ザ・グッド・ハート**」 THE GOOD HEART (アイスランド)  
監督:ダーグル・カリ Dagur Kari
- 「**川べりのふたり**」 TWO BY THE RIVER  
監督:海南友子 Tomoko Kana

2006年受賞作

- 「**溺れさせないで**」 DON'T LET ME DROWN  
監督:クルス・アンヘルズ Cruz Angeles
- 「**タホ湖**」 LAKE TAHOE (メキシコ)  
監督:フェルナンド・エイムボッケ Fernando Eimbcke
- 「**春の儀式**」 THE SPRING RITUAL (ベルギー)  
監督:パトリス・トイ Patrice Toye
- 「**クローン人間は故郷をめざす**」  
THE CLONE RETURNS TO THE HOMETLAND  
監督:中嶋亮爾 Kanji Nakajima

2005年受賞作

- 「**バーチャルラブ**」 VIRTUAL LOVE  
監督:リチャード・プレス Richard Press
- 「**ボディガード**」 THE MINDER (アルゼンチン)  
監督:ロドリゴ・モレノ Rodrigo Moreno
- 「**世界の終わりの過ごし方**」 THE WAY I SPENT THE END OF THE WORLD  
(ルーマニア)  
監督:カタリン・ミツレスク Catalin Mitulescu
- 「**酒井家のしあわせ**」 THE SAKAIS' HAPPINESS  
監督:奥美保 O Mipo

2004年受賞作

- 「**君とボクの虹色の世界**」 ME AND YOU AND EVERYONE WE KNOW  
監督:ミランダ・ジュライ Miranda July
- 「**砂の家**」 THE HOUSE OF SAND (ブラジル)  
監督:アンドルー・チャ・ワディントン Andruca Waddington
- 「**タクシデルミア**」 TAXIDERMIA (ハンガリー)  
監督:ジョルジ・バルフィ Gyorgi Palfi
- 該当作なし

2003年受賞作

- 「**モーテル**」 THE MOTEL  
監督:マイケル・カン Michael Kang
- 「**ウイスキー**」 WHISKY (ウルグアイ)  
監督:ホアン・P・レベラ&パブロ・ストール Juan P Rebella & Pablo Stoll
- 「**雲が出るまで**」 WAITING FOR THE CLOUDS (トルコ)  
監督:イェシム・ウスタオウル Yesim Ustaoglu
- 「**ウール100%**」 WOOL 100%  
監督:富永まい Mai Tominaga

2002年受賞作

- 「**スリープ・ディーラー**」 THE SLEEP DEALER  
監督:アレックス・リヴェラ Alex Rivera
- 「**タブロイド**」 CRONICAS (エクアドル)  
監督:セバスチャン・コルデロ Sebastian Cordero
- 「**羊の啼き声**」 THE BLEATING OF SHEEP (アルバニア)  
監督:ジェルジ・ジュヴァニ Gjergji Xhuvani
- 「**ミラーを拭く男**」 THE MAN WHO WIPES MIRRORS  
監督:梶田征則 Seisoku Kajita

2001年受賞作

- 「**マッジ少年**」 THE MUDGE BOY  
監督:マイケル・バーク Michael Burke
- 「**アル・シエロ 空へ**」 TODAS LAS AZAFATAS VAN AL CIELO (アルゼンチン)  
監督:ダニエル・ブルマン Daniel Burman
- 「**ハリマのパラダイス**」 HALIMA'S PARADISE (オランダ)  
監督:ファティマ・ジェブリ・ウアザニ Fatima Jebli-Ouazzani
- 「**水の女**」 WOMAN OF WATER  
監督:杉森秀則 Hidenori Sugimori

2000年受賞作

- 「**雌鹿少年**」 DOE BOY  
監督:ランディー・レッドロード Randy Redroad
- 「**オティリア**」 OTILIA (メキシコ)  
監督:ダナ・ロトベルグ Dana Rotberg
- 「**道のり**」 THE INVITATION (イギリス)  
監督:カリーヌ・アドラー Carine Adler
- 「**ランドリー**」 LAUNDRY  
監督:森淳一 Jyunichi Mori

1999年受賞作

- 「**彼女を見ればわかること**」 THINGS YOU CAN TELL JUST BY LOOKING AT HER  
監督:ロドリゴ・ガルシア Rodrigo Garcia
- 「**沼地という名の町**」 LA CIENAGA (アルゼンチン)  
監督:ルクレシア・マルテル Lucrecia Martel
- 「**ベリー・アニー・メアリー**」 VERY ANNIE MARY (イギリス)  
監督:サラ・シュガーマン Sara Sugarman
- 「**Go!**」 Go! HEAT MAN!  
監督:矢崎充彦 Mitsuhiro Yazaki

1998年受賞作

- 「**リフト(万引き)**」 LIFT  
監督:デメイン・デイビス、カーリ・ストリーター DeMane Davis/Khari Streeeter
- 「**口笛高らかに**」 LA VIDA ES SILBAR (キューバ)  
監督:フェルナンド・ペレス Fernando Perez
- 「**ボスニアの青い空**」 WHERE ESKIMOS LIVE (ポーランド)  
監督:トマス・ビシュニエスキ Tomasz Wisniewski
- 「**ビービー兄弟**」 THE BLEEP BROTHERS  
監督:藤田芳康 Yoshiyasu Fujita

1996年受賞作

- 「**スモーク・シグナルズ**」 SMOKE SIGNALS  
監督:クリス・エア Chris Eyre
- 「**セントラル・ステーション**」 CENTRAL DO BRAZIL (ブラジル)  
監督:ヴァルテル・サレス Walter Salles
- 「**フラミンゴの季節**」 SIN QUERER (ドイツ=アルゼンチン)  
監督:シーロ・カペラリ Ciro Cappellari
- 「**Mr.Pのダンシング・スシ・バー**」 Mr. P'S DANCING SUSHI BAR  
監督:田代廣孝 Hirotaka Tashiro

■ アメリカ U.S.A. ■ ラテン・アメリカ LATIN AMERICA ■ ヨーロッパ EUROPE ■ 日本 JAPAN

「サンダンス・NHK国際映像作家賞 日本部門2008」事務局  
〒150-0047 東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル3F NHKエンタープライズ内 TEL 03-3481-7850 (月~金 11:00~17:00)



NHKとサンダンスは  
オリジナル脚本の映像化を志す監督を応援します

# サンダンス・NHK 国際映像作家賞

[日本部門2008 応募要項]

# JAPAN

ミラーを拭く男 (2002年受賞作) 酒井家のしあわせ (2005年受賞作) 水の女 (2001年受賞作)



ウール100% (2003年受賞作) ランドリー (2000年受賞作)

# U.S.A. EUROPE LATIN AMERICA



ウイスキー (2003年受賞作) セントラル・ステーション (1996年受賞作) 君とボクの虹色の世界 (2004年受賞作) 彼女を見ればわかること (1999年受賞作)



# SUNDANCE/NHK INTERNATIONAL FILMMAKERS AWARD

## 「サンダンス・NHK国際映像作家賞」とは？

1996年、映画生誕100年を記念して才能ある若い映像作家を世界中から発掘、21世紀の映像文化の発展に貢献する目的で発足した「シネマ100・サンダンス国際賞」の意義と成果を継承するべく、97年1月にNHKとサンダンス・インスティテュートが共同で再発足させたプロジェクト。日本のみならず、アメリカ、ラテン・アメリカ、ヨーロッパ各地域でシナリオを募集、それぞれの地域で予備選考を行い、最終審査は世界の第一線で活躍する映画人で構成される国際審査委員会により、各地域1名、計4名の最優秀者を選出する。毎年、選考には、日本部門を含み、世界中から3000件近い応募が寄せられている。

## サンダンス・インスティテュートとは？

1981年に俳優・監督のロバート・レッドフォードによって創設された独立系映画人養成のための非営利団体。恒例の監督養成実地研修「ジューン・ラボ」、今やカンヌに次ぐ映画祭に成長したと言われる1月の「サンダンス映画祭」、そして世界的なネットワークを活かした様々なプログラムを行っている。サンダンスがこれまで輩出した人材には、「パルプ・フィクション」のクエンティン・タランティーノ、「ユージュアル・サスペクツ」のブライアン・シンガー、「ヘドウィグ・アンド・アングリーインチ」のジョン・キャメロン・ミッチェル等がいる。

## 1 応募資格

- (1) 応募脚本を自ら監督として映画化することを目的とする者。
- (2) 応募者は作者本人に限る。団体・個人を問わず、代理人による応募は認められない。

## 2 応募規定

- (1) 応募シナリオ
  - 応募者自身の執筆による4～6万字（2時間の長編劇映画）程度のオリジナル日本語脚本（共同執筆は可。ただし、応募者は監督希望当人に限る。）
  - 過去に映画化された作品、他団体主催のコンクールにおいて入賞した作品は不可。
  - 原作ものの映画化に関しては、権利がクリアされていることを条件とする。
  - 作品ジャンルは問わない。ただし、アニメーションを除く。
- (2) 過去の映像作品
  - 公開の有無、ジャンル（映画、TVドラマ、ミュージックビデオ、CMなど）不問。
  - 自主制作、短編、ビデオ作品も可。
  - 提出フォーマットはVHSのみ。

## 3 応募提出物

- (1) 応募シナリオ
  - A4サイズ、縦書き（横書きは不可）。各頁に頁番号をふる。
  - 原稿は綴じずにクリップ等でひとまとめにして送付。（上記の形体をとらない応募シナリオは、審査不可とみなす可能性あり。）
- (2) 過去の映像作品のVHSテープ
  - 背表紙に、氏名、作品名、各作品の分数、製作年を必ず明記する。
  - 日本語以外の作品の場合、内容の説明文を添付する。
- (3) 所定の応募用紙
- (4) 応募シナリオの内容を1000字程度にまとめた概要（A4サイズ）
- (5) 登場人物一覧（A4サイズ）
- (6) 応募者の住所・氏名を記入した官製ハガキ（シナリオ受領確認後に返送）

## 4 応募方法

応募希望者は、すべての提出物を同封の上、郵便書留もしくはそれに準ずる郵送方法にて、応募期間内に応募先へ送付する。送料は応募者の負担とし、応募書類（原稿、VHS等）は返却されない。また応募するシナリオ等の事務局受領時までの紛失、焼失などの事故に関して主催者側は責任を負わない。

## 5 応募先

〒150-0047 東京都渋谷区神山町4-14  
第三共同ビル3F NHKエンタープライズ内  
「サンダンス・NHK国際映像作家賞2008 日本部門」事務局

## 6 応募期間

2007年5月1日（火）～6月30日（土） ●当日消印有効

## 7 審査方法

【一次審査（7月～8月）】 ◆合否通知：2007年9月上旬  
一次審査員が、応募シナリオ・過去の映像作品・応募書類により、約10本の一次審査通過作品を選出する。

【二次審査（9月～10月）】 ◆合否通知：2007年10月中  
二次審査員が、一次審査通過作品の作家を面接審査し、二次審査通過3作品を選出する。  
（注）二次審査に通過した3名は、「サンダンス・NHK国際映像作家賞2008」ファイナリストとして、国内外のプレスに公表される。

【最終審査（10月～11月）】 ◆合否通知：2007年12月中旬  
日米の第一線で活躍する映画人からなる、独立した国際審査員団が、二次審査通過3作品から受賞1作品を選出する。

【発表及び表彰（翌年1月）】  
受賞者1名は、「サンダンス・NHK国際映像作家賞2008（日本部門）」受賞者として、他の3地域（アメリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ）の受賞者ととも、2008年1月米国ユタ州で開催されるサンダンス映画祭において表彰される。

## 8 授賞内容

「サンダンス・NHK国際映像作家賞2008」受賞者には、賞金1万米ドルが授与される。また、受賞作が完成した際には、NHKが日本国内の放送権購入を保障する。（製作開始・終了期限、納期、放送基準等、NHKの定める諸条件を満たした場合。）

## 9 了承事項

授賞作品が映画化された場合、受賞者はサンダンス映画祭及び関連企画のために、日本または外国のテレビ等で作品の一部が放映されたり、出版物にスチール写真が掲載されることについて、これを了承する。また、完成した映画には指定する協力クレジットを入れることを了承する。